

# 五島中央病院 ニュース

第9号

## 病院の理念

五島の地域医療に貢献し、患者様に信頼される病院をめざします。

## 目標

- 一、患者様中心の医療
- 二、安全な医療
- 三、質の高い医療
- 四、健全なる経営
- 五、救急医療の充実

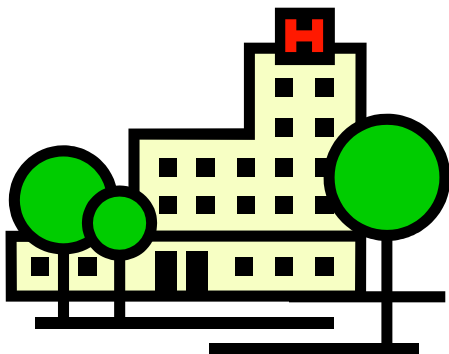
## 基本方針

- 一、患者様にわかりやすい言葉で説明します。
- 二、検査や治療については患者様の同意を得て実施するように努めます。
- 三、医療水準の向上に努めます。
- 四、病診連携、保健・福祉機関との連携に努めます。

## 目次

### 1. 精神科より

### 2. リハビリテーション科より



## 1 精神科より

### ○スタッフ

精神科医師3名の診療体制となっています。

科長 小田 孝：精神保健指定医・精神科認定医

医長 尾崎 智治：精神保健指定医・精神科認定医

医師 橋口 知幸：精神科医師

### ○診療内容

現代社会において、多くのストレスに対する心身の影響から、精神科医療の重要性が叫ばれています。それは何も都会の中の話だけでなく、この五島列島でも重要な課題となっています。ここ数年特に、当科の外来患者数が増加傾向にあります。そういった意味では、精神障害への理解も深まり、この地でも精神科の治療を受け入れてもらえるようになったと感じられます。

当科は、五島列島唯一の入院施設を持った精神科治療施設として、精神科の疾患や関連した問題に対して、24時間365日対応しております。特に、統合失調症や躁うつ病、アルコール依存症はもとより、近年特に増えた、ストレスから来ると言われる自律神経失調症、不安神経症や老年期の認知症、中学・高校生の不登校の問題まで、幅広く関わってきております。

また、関連機関も多く、五島保健所や社会復帰施設はもとより、福祉事務所、五島警察署、高齢者入所施設、支援施設等とも連携をとって、「地域で支える」活動も行っています。

### ○外来診療

年間350人の新来患者と、一日平均70人の旧来患者が外来を訪れます。新来患者では、神経症や認知症の患者が中心で、近年、落ち込んで苦しんでいる中年男性の受診も増えております。また、中高生の心身ともに疲れ、学校に行けなくなった子供の相談も受け付けておりますので、気軽にご相談下さい。

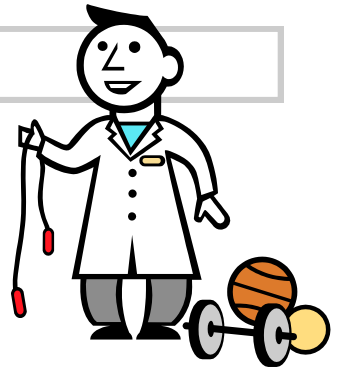
### ○病棟

2階別館への入院となります。15対1看護の療養環境を準備しています。統合失調症やうつ病の安静を目的とした入院、神経症等の1週間程度の短期休息入院から、一ヶ月のアルコール依存症治療プログラムまで、個々の疾患、病状にあわせた様々な治療プログラムを用意しております。

## 2. リハビリテーション科より

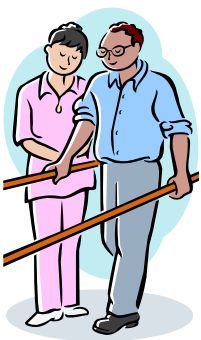
### ○スタッフ

リハビリテーション科スタッフは、専任医1名、理学療法士4名、作業療法士2名、助手2名の9名が所属しています。



### ○診療状況

リハビリテーション科は他の診療科から依頼を受け、入院、外来の患者様に対しリハビリテーションサービスを提供しています。その多くは、運動器疾患（骨折・外傷後の術後等）を有する方が大半を占めていますが、最近では小中高生など若年のスポーツ外傷後の対象者が増加傾向にあり、全体の約60%を占めています。その他、脳血管疾患（急性発症した脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血等）、呼吸器疾患（呼吸不全、外科の術後等）、循環器系の疾患、また小児特有の疾患など多種多様な疾患を有す方々に対応しております。外来の基本診療時間は午前中の9時から12時ですが、小児疾患の場合は夕方16時より、小中高生対象者は必要に応じ17時以降に対応しています。専門職種によりリハサービス内容が異なりますが、主に身体機能の改善や起立・歩行トレーニング、また日常生活に必要な動作トレーニング・指導等を行っています。入院患者様で、自宅での生活に不安が有る場合は家屋チェックや住宅改修、福祉用具等のアドバイスも行っております。



### ○その他業務

当院は「五島地域リハビリテーション広域支援センター」の指定を受けており五島圏域におけるリハビリに関する地域支援活動を各関係機関と協力しながら行っております。主な業務内容は1) リハビリテーション従事者への研修や技術指導支援、2) 地域住民の相談対応に係わる支援、3) 福祉用具選定や住宅改修に係わる相談対応などがあります。

五島地域の人々の“全人間的復権（リハビリテーション）”を目標にスタッフ一同頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。

